

「お金のヒミツや仕組み」をより分かりやすく 〈2019 年は亥年。猪突猛進の一年〉



1. はじめに

2019 年の干支は「亥(いのしし)」です。

亥とは一般的に用いられる動物の猪と同義で、「猪突猛進(まっしぐらに突進する様)」や「猪勇(向こう見ずに突進する勇氣)」、「猪武者(何も考えず無鉄砲に突進する武者)」などのような例えにも見られるとおり、相場の行方を占ううえでは頼もしくもあり、やや不安にも感じさせる干支です。

果たして 2019 年の亥年相場はどうなるのか、本コンテンツでは過去の亥年相場を振り返りながら予想してみたいと思います。

2. 過去の亥年の相場はどうだったのか

第二次世界大戦後、亥年の相場は 5 回あります。それぞれの大納会の日経平均株価終値を前年末と比較すると、そのうちの 4 回がプラスで引けています。

また、亥年の年間騰落率の平均値は約 16 パーセントで、これは十二支の中では 4 位の成績です。

これらの数字を見た限りでは、亥年の相場は良好な傾向にあるように思えます。

しかし、約 16 パーセントの騰落率はバブル期以前の上昇相場による高値が寄与しているに過ぎません。

特に直近の亥年相場は、2007 年はサブプライムローン問題の表面化や原油価格高騰による世界株安などの影響を受け、騰落率は前年末比マイナス約 11 パーセントの下落に陥っています。

また、1995 年は阪神・淡路大震災(1923 年の関東大震災も亥年)や地下鉄サリン事件、相次ぐ金融機関の経営破綻などによる影響により、前年末比プラス 0.7 パーセント程度に留まっています。

3. 2019 年の亥年はどうなる？

2018 年「戌年」の株式市場を振り返ってみましょう。

米中貿易戦争、万国郵便連合 (UPU) 条約からの脱退、突然の EU 諸国との貿易交渉再開宣言など、2017 年に引き続いて世界中がトランプ大統領 (戌年生まれ) の年男 (戌年) に振り回されているといっても

過言では無い中、好調な企業業績を背景に日経平均株価は 27 年振りにバブル崩壊後の戻り高値を更新しました。

しかし、10 月にはアメリカの「オクトーバー・エフェクト」(10 月効果)と呼ばれる有名なアノマリーに連座するような形で、一時的に 21,000 円を割り込むなど記録的な暴落に見舞われました。しかし、11 月末時点では 22,350 円まで回復しており、大納会までどの程度の戻りを試すかが焦点となっています。

2019 年「亥年」も、引き続き国際情勢の変化はめまぐるしいものになると考えられます。

主役はやはりアメリカ・ヨーロッパ諸国・中国になると考えられますが、亥年はキューバ革命や辛亥革命、アラブ首長国連邦やトルコ共和国の建国、ネパールやパキスタンの独立など世界各地で革命・建国・独立などが起きており、特にアジアやラテンアメリカなどの新興国の政情からは目が離せません。

日本では、2019 年 5 月に平成が終わり新元号となります。過去、日経平均株価が市場最高値の 38,915 円を付けた 1989 年(巳年)も元号が昭和から平成に変わった年です。別の見方をすると来年は日経平均株価のピークになるとも考えられますが、亥年の格言のひとつに「固まる」というものがあり、この通りであれば現状の良好な相場のトレンドが確固なものになる年になるという見方もできます。

また、亥年は過去に新潟県中越沖地震(2007 年)、阪神・淡路大震災(1995 年)、伊勢湾台風(1959 年)、関東大震災(1923 年)と、大きな自然災害に巻き込まれた年でもあります。2018 年も台風などによる災害が相次いだことから、防災意識は引き続き高まるでしょう。したがって、防災関連銘柄を先行して物色しておくことが良いかもしれません。

4. まとめ

2019 年も、世界中で金融市場や政情の不透明感は続くと考えられます。しかしながら日本やアメリカのファンダメンタルズは良好なことから、株式市場はタイトルの通り「猪突猛進の一年」になることを期待したいものです。

>> 更に資産運用に関する情報を見られたい方は向け。

お金のプロを目指す! 「日税 FP フォーラム」はこちら

⇒<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

< 著者プロフィール >

福田 猛

ファイナンシャルスタンダード株式会社 代表取締役

大手証券会社入社後、10 年間、1,000 人以上の資産運用コンサルティングを経験。2012 年 I F A 法人であるファイナンシャルスタンダード株式会社を設立。独立系資産運用アドバイザーとして数多くのセミナーを主催し、幅広い年齢層の顧客から支持を受け活躍中。

著書に「金融機関が教えてくれない 本当に買うべき投資信託」(幻冬舎)がある。

2015 年楽天証券 I F A サミットにて独立系ファイナンシャルアドバイザーで総合 1 位を受賞。

■■■■■ 著作権 など ■■■■■

著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することは、著作権法に触れる行為となります。また、メールマガジンにより専門的アドバイスまたはサービスを提供するものではありません。貴社の事業に影響を及ぼす可能性のある一切の決定または行為を行う前に必ず資格のある専門家のアドバイスを受ける必要があります。メールマガジンにより依拠することによりメールマガジンをお読み頂いている方々が被った損失について一切責任を負わないものとします。

参考

経済金融情報メディア「F-Style」: <https://fstandard.co.jp/column/>

“F-Style”とは？

人々の暮らしと密接に関わる「お金のヒミツや仕組み」を、より分かりやすくお伝えする経済金融メディアです。